

平成27年度にBhas形質転換試験を実施した物質について

1 これまでの経緯

(1) WG での評価及び試験の実施

遺伝毒性評価 WG において、「遺伝毒性なし」と評価された物質のうち、非遺伝毒性発がんスクリーニング試験対象物質の選定方針の基準に基づき、資料 1 - 2 及び資料 1 - 3 の 16 物質を平成 27 年度の遺伝毒性評価 WG で選定し、平成 27 年度の委託事業により Bhas 形質転換試験を実施した。

(試験実施物質)

- ① 硝酸バリウム
- ② 酢酸亜鉛 (II)
- ③ 2-メトキシエチル=アクリラート
- ④ N-(1,1-ジメチル-3-オキソブチル)アクリルアמיד
- ⑤ イソブチルアミン
- ⑥ ビニルスルホン酸ナトリウム
- ⑦ テトラメチルアンモニウム=ヒドロキシド
- ⑧ 2-メチル-1,3-プロパンジオール
- ⑨ 3-メチルブタナール
- ⑩ アジピン酸ジヒドラジド
- ⑪ ϵ -カプロラクトン
- ⑫ トリエチレンジアミン
- ⑬ 4-メチルピリジン
- ⑭ 2-(ピペラジン-1-イル)エチルアミン
- ⑮ ポリエチレンイミン
- ⑯ tert-アミルアルコール

2 本WGにおける検討事項

- (1) Bhas 形質転換試験結果の評価を行う。
- (2) 試験結果が陽性と評価された物質について、ラット肝中期発がん性試験の候補物質 (発がん性評価 WG で選定) とするかを検討する。